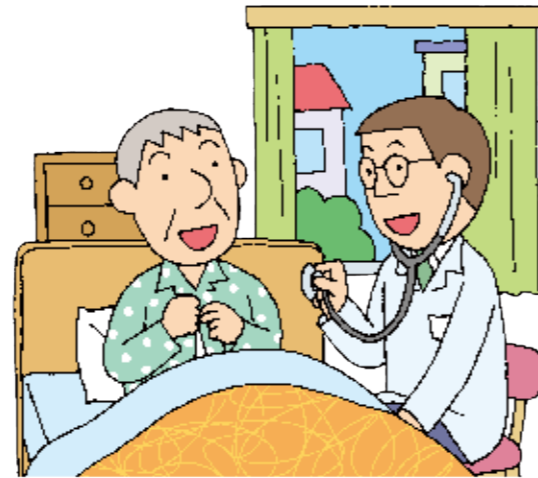


# 「医療」が必要になったら…

## 「在宅医療」がこれからの健やかな暮らしを支えます

通院や入院ではなく、自宅など生活の場で、診療や治療、処置などを行うのが「在宅医療」です。高齢になると足腰の衰えなどから通院がままならないという問題も起こります。そんな場合も、お医者さんが来てくれる訪問診療や往診といった在宅医療なら安心です。

また、いつまでも住み慣れた自宅などで暮らしたいという患者や家族の希望を満ち、将来的な入院病床数の不足を解消するためにも在宅医療の普及は大切です。



## 「かかりつけ医」が中心となって支えます

在宅医療の中心となるのが、地域の「かかりつけ医」です。普段から患者や家族の状況をよく知っているかかりつけ医が在宅医療の担い手になることで、便利なだけでなく、お互いの信頼関係も築きやすく、健康管理や服薬管理なども含めた継続的な医療が提供できるようになります。

町内には入院施設が少なく、大部分の方は町外の病院に入院されます。退院後住み慣れた地域に戻り、円滑に在宅医療に移行するためにも、入退院時におけるかかりつけ医と病院との連携が重要です。



## 「在宅」ならではのメリットもあります

入院している人の多くは、「早く家に帰りたい……」と思うものです。在宅医療によって、たとえ重い病気を抱えていても住み慣れた「わが家」で療養ができるというのは、精神的に大きなメリットになり、精神面の負担が軽減されることで症状が軽くなることもあります。また、費用面でも一般的に、入院治療よりも在宅医療のほうが経済的といわれています。



## 訪問診療と往診について

訪問診療も往診も在宅医療に含まれますが、訪問診療は、定期的に訪問して行う医療処置で、往診は、おもに急変時などに不定期に行う治療をいいます。

この「訪問診療」と「往診」を合わせて、在宅医療と考えることができます。

「訪問診療」、「往診」を行っている医療機関は、14ページ～19ページをご確認ください。



「医療」が必要になったら

## 在宅医療で認知症

現在、認知症の人が増加傾向にあり、在宅医療においても認知症ケアの重要性が高まっています。そのため、認知症の人およびその家族に向けた在宅医療サービスもあります。上手に活用するとともに、認知症に対する理解を深めましょう。

厚生労働省の調査では、65歳以上の約15%が認知症とされ、年齢が5歳上がるにつれ倍増します。在宅医療においても認知症のケアは重要です。

そのため、在宅医療が必要な認知症患者に向けて、認知症の特徴を理解した上での認知症向けの在宅サービスや、可能な範囲で機能の回復を図ったり、残存能力を活用できるようなケアも行われています。



## 「東郷町認知症ケアパス」を作成しています

認知症の人やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるのか、認知症の样態に応じたサービス提供の流れをまとめた「東郷町認知症ケアパス」を作成しています。東郷町高齢者支援課または東郷町地域包括支援センターまたは担当ケアマネジャーにお問い合わせください。



## 歯科医師・歯科衛生士が健康なお口を守ります

“口から食事をおいしくとる”ことにより、満足感と喜びが生まれ、生活への意欲がわいてくるものです。“おいしいものを口から食べたい”と思いませんか？ 歯科医師・歯科衛生士は、そのために必要な「健康なお口」をつくるお手伝いをします。



### 食べることは生きること！ 食べる力が栄養を支えます！

高齢になってくると、歯の治療や衛生管理がおろそかになりがちです。口の中が不衛生になることで、肺炎になるおそれも出てきます。

### 在宅で受けられる歯科医療・口腔ケア

- 虫歯の治療
- 入れ歯を治す、新しくする
- 口の中の汚れ落とし
- 歯周病の治療
- 飲み込みの改善 など
- 悪い歯を抜く
- 歯みがきの手伝い

お気軽に**かかりつけ歯科医**にご相談ください。かかりつけ歯科医がいなければ、**歯科医師会 東郷支部**へ相談しましょう。

「オーラルフレイル\*予防教室」の開催を予定しています。  
\*オーラルフレイルとは、加齢により口周りの筋力が低下し、知らない間に噛む力や飲み込む力が低下している状態をいいます。  
【問合せ先】東郷町成人保健推進室 0561-56-0758

## 薬剤師が服薬治療のサポートをします

高齢者になるほど、複数の病気を抱える人が多くなり、それにともなって薬の種類も多くなりがちです。在宅医療では、薬剤師の訪問により、薬の管理や疑問についてサポートやアドバイスを受けることができます。

### 通院中のサポート

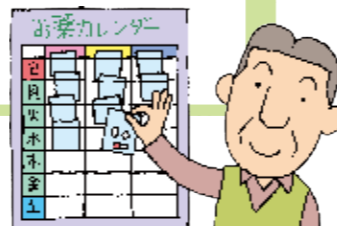
### 訪問によるサポート

残薬の整理、薬や飲み方の調整、病院でもらった薬の一包化、飲み合わせの相談など、薬に関することはお気軽にご相談ください。



本人・家族だけでなく、専門職と連携した服薬サポートを行います。通院困難になったら、薬剤師が直接訪問してサポートをします。

薬剤師は、地域医療・介護の専門家とチームを組んで、個別スタイルに合わせた在宅療養を支援します。



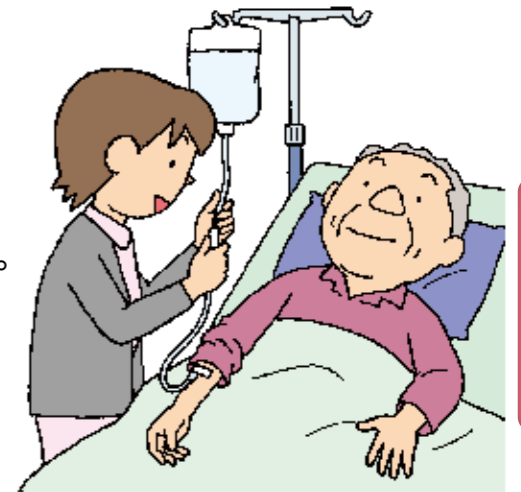
薬に関するお困りごとは、薬をもらっている**かかりつけ薬局・薬剤師**に相談しましょう。相談先が分からない場合は、**東郷町薬剤師会**へ相談しましょう。

## 訪問看護師がお一人おひとりの療養生活を支えます

病状や療養生活を専門家の目で見守り、的確なアドバイスで自立した生活が送れるように支援します。

### 例えば...

- 急変時にはかかりつけ医と連携し、必要がある場合は訪問し対応します。
- 病気によって、ご自宅での生活に医療者の手助けや相談が必要な状況の方、認知症の周辺症状の対応をします。
- 経管栄養、点滴や注射、痰の吸引、尿管装着、在宅酸素、人工呼吸器など医療機器を付けた方の療養生活を支えます。
- 医師、薬剤師とも連携して、症状や生活に見合った、服薬調整など、症状緩和に対応します。
- 住み慣れた家で最期まで過ごせるように、医師、薬剤師とも連携して、痛みなどの苦痛症状の緩和に向けて対処し、ご家族と共同で看取りへの支援を行います。



「医療」が必要になったら

## 管理栄養士・栄養士が無理なく楽しい食生活を支援します

身体をつくるもとになるお食事を楽しく美味しく食べられることが生活の質の向上につながります。自宅で暮らす高齢者の方は、低栄養状態やフレイル(健康な状態と要介護状態の間)になりやすい環境にあります。管理栄養士・栄養士は、あなたの生活スタイルに合わせて、簡単に美味しく栄養の摂れる食事方法を提案します。

### すでに、医師から特別な指示が出ていて心配な方

糖尿病・腎臓病食などの指示がある方は、まずは、自分のかかっている**医師や、クリニックに在籍している管理栄養士・栄養士**に相談しましょう。



### 医師から特別な指示はないが、栄養状態が心配な方

- 半年で3kg以上の体重が減った
- 食事量・回数が減ってきている
- 飲み込みにくくなった
- 退院したが何を食べたらいいのかわからない
- 1人分の料理、介護食の作り方が知りたい
- 食欲がない など

### 主な相談先

- 担当ケアマネジャー
- 地域包括支援センター
- 東郷町高齢者支援課
- 東名古屋医師会やまびこ認定栄養ケア・ステーション (0561-75-5512)

# リハビリテーション専門職 が 自分らしく生活するためのサポートをします

リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）が、機能回復訓練や日常生活動作訓練などを行い、自分らしい生活を送られるよう支援します。

## 理学療法士 (PT)

動作の専門家です。寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を送る上で基本となる動作の改善を目指し、運動療法や物理療法などを行います。

## 作業療法士 (OT)

作業の専門家です。お箸を使う、入浴する、着替える、文字を書くなどの日常生活を送る上で必要となる作業の改善を目指し、作業療法などを行います。

## 言語聴覚士 (ST)

話す、聞く、食べるの専門家です。ことばによるコミュニケーションの問題に対し、訓練、助言などを行います。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

## 柔道整復師

骨・関節・筋などに加わる外傷性が明らかな原因によって発生する骨折・脱臼・打撲などの損傷に対し非観血的療法によって整復・固定などを行います。

## 状況に応じてリハビリテーションを受けることができます。

<b>通所</b>	介護老人保健施設や医療機関などで、機能回復訓練などを中心に受けることができます。
<b>訪問</b>	専門職が自宅を訪問し、普段の生活環境を確認した上で、自宅の環境調整や日常生活動作訓練などを受けることができます。
<b>地域の教室</b>	出張講座などで運動指導を受けることができます。ちょっとした相談もできます。



リハビリテーションを受けたい場合は、**主治医や担当ケアマネジャー**に相談しましょう。地域の教室での運動指導については、**東郷町高齢者支援課地域ケア推進係**へお問い合わせください。

## 自立支援応援事業

いつまでも住み慣れた地域で暮らすため、日常生活を送る上でのちょっとした困りごとや不安を抱え始めた早期から、訪問により医療専門職（管理栄養士、理学療法士、作業療法士など）の助言を受けることができます。

### 地域包括支援センター・ケアマネジャー

#### 管理栄養士

栄養状態や、調理の工夫などについての助言

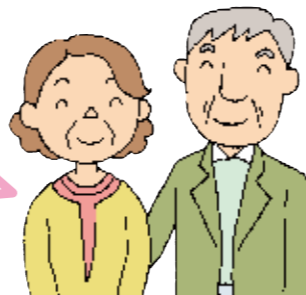
#### リハビリ専門職

身体機能、日常生活動作、生活環境などについての助言

#### その他

その他の専門職にも相談できるように調整中です

早期に専門職に相談できて安心♪



まずは、**地域包括支援センター**や**担当ケアマネジャー**に相談しましょう。事業については、**東郷町高齢者支援課地域ケア推進係**へお問い合わせください。

## 出張講座

医療と介護の専門職が地域の団体に出向いて出張講座を行います。詳しくは、**東郷町高齢者支援課地域ケア推進係**へお問い合わせください。

# 「介護」が必要になったら…

## 介護保険を利用しましょう

日常生活で介護が必要になったら、「介護保険」を利用しましょう。町に「要介護認定」の申請をし、認定された区分に応じたサービスを受けることができます。まず、地域包括支援センターにお問い合わせしましょう。また、かかりつけ医は介護保険でも主治医としてかかわるので、かかりつけ医がいる場合は相談してみましょう。

自宅でサービスを受けたい	施設に入所したい	施設に通いたい・泊まりたい	車いす、杖、ベッド等を買いたい・借りたい
--------------	----------	---------------	----------------------

## ■おもな介護保険サービス

	サービス	内容	自宅でサービスを受けたい	施設に入所したい	施設に通いたい・泊まりたい	車いす、杖、ベッド等を買いたい・借りたい
居宅サービス	訪問介護(ホームヘルプ)	ホームヘルパーによる自宅での生活上の介護や支援のサービスです。	●			
	訪問入浴介護	浴槽搭載の入浴車や自宅に簡易浴槽を搬入して行う入浴介護です。	●			
	訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士などによる自宅でのリハビリテーションです。	●			
	訪問看護	医師の指示により看護師などが行う自宅での診療や療養の補助です。	●			
	通所介護(デイサービス)	デイサービスセンターでの日帰りの日常生活支援です。			●	
	通所リハビリテーション(デイケア)	介護老人保健施設や医療機関などでの日常生活支援やリハビリテーションです。			●	
	ショートステイ(生活介護)	特別養護老人ホームなどに短期間入所して行う日常生活支援や機能訓練です。			●	
	ショートステイ(療養介護)	介護老人保健施設や医療施設などに短期間入所して行う日常生活支援や機能訓練です。			●	
	福祉用具の貸与	日常生活の自立を助けるための福祉用具を貸与します。	●			●
福祉用具の購入助成	入浴や排せつなどに使用する福祉用具の購入費を助成します。	●			●	
施設サービス	特別養護老人ホーム	常時介護が必要な人が入所して、日常生活上の支援や介護が受けられます。		●		
	介護老人保健施設	状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションや介護が受けられます。		●		
	介護療養型医療施設(H30～介護医療院含む)	長期療養が必要な人の施設で、医療・看護・リハビリテーションなどが受けられます。		●		
地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	認知症の人が共同生活をする住宅で受ける日常生活上の支援や機能訓練です。		●		
	看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせることで、通い・訪問・短期間の宿泊を利用して介護や医療・看護のケアが受けられます。	●		●	
	地域密着型通所介護(デイサービス)	小規模のデイサービスセンターでの日帰りの日常生活支援です。			●	

「介護」が必要になったら